

■上杉憲実 将軍足利義教と関東公方足利持氏の間で翻弄されながら調停する間、足利学校を再興、持氏死去後は僧になった。

うえずぎのりざね

1410= 足利持氏が関東公方となった翌年、鎌倉幕府の皇族将軍に従い関東に下向して公家から武家に転じ、足利氏と婚姻関係を結んで関東での卓越した力を築いた上杉家の一派山内家の越後守護房方の三男として、越後国で生まれる。

1415= 5歳：この年、上杉氏憲の関東管領職が足利持氏に取り上げられ、山内家の上杉憲基が管領となったことから、

禅秀の乱 1416= 6歳：氏憲が守護クラスの豪族を味方に持氏に反旗して<禅秀の乱>となり、

1417= 7歳：氏憲の自害で終結してもなく、

1418= 8歳：憲基が死去したため、その後継者に選ばれ、鎌倉に入って山内家を継ぎ、

応永の外寇 1419= 9歳：伊豆・上野両国守護に補任され、同じ頃、**関東管領にも任命されたが、幼少のため持氏の独裁となる。**

1420= 10歳：越後国雲洞庵を再興したと伝えられる。

1422= 12歳：義理の祖父(房方の養父)越後家憲栄が領国伊豆で没する。

足利義持出家 1423= 13歳：大将として常陸国の小栗氏征伐に赴き、小栗城を落とす。

1424= 14歳：**判始めを行い、政治に登場。**

将軍不在化 1425= 15歳：安房守となるか。

馬借京乱入 1426= 16歳：鶴岡八幡宮寺相承院珍誉を下総国浄光寺別当職に補任する。

1427= 17歳：家臣・長尾忠政をして武蔵国金沢称名寺開所造営への狼籍を禁止させる。

義教畿引将軍 1428= 18歳：武蔵国六浦郷勝福寺門前諸公事を免除。**義円(義教)の継嗣に不満で上洛しようとした持氏を策略で阻止。**

播磨国一揆 1429= 19歳：**将軍となった足利義教が、京都鎌倉間の確執を排除すべく、憲実との接触を協議。**

**その後も持氏が露骨な反幕府的行動を探り続けたため、**

1431= 21歳：下野国の那須氏が幕府が扶持することに反対。**その謝罪の使節を幕府に遣わす。**

明貿易回復 1432= 22歳：鎌倉府が押領していた幕府方所領足利荘を返還。相模国大山寺造営のため馬一疋を奉納。義教の富士下向の延期を幕府に要請。京都の満濟に贈物を進上。

1433= 23歳：駿河国今川氏の継嗣問題に関して、幕府が憲実と連絡をとる。

世阿弥配流 1434= 24歳：関東の雑説につき幕府から問いただされ、憲実が持氏の野心を止めていると、今川氏が幕府に注進。

1435= 25歳：遍照院に関する訴訟で、渋江氏に文書の提出を求める。

1436= 26歳：**持氏の信濃国への出兵を阻止するなど調停に奔走するも、持氏との不和は決定的なものとなり、**

1437= 27歳：**ついに管領を辞任。持氏が宿所に訪れて間もなく相模国藤沢に退くが、持氏の強請で鎌倉に還る。**

永享の乱始 1438= 28歳：**それを利用して義教が持氏討伐を決する報を聞くや自害を企てるも近臣に阻まれ、<永享の乱>となるや、幕府側の一員として鎌倉を去り、一旦上野国赴いた後、武蔵国分倍河原に着陣、幕府が持氏を永安寺に幽閉後、再び自害を図って果たせず、幕府より持氏の処分を催促されると、逆に持氏の助命を幕府に乞う。**

永享の乱終 1439= 29歳：**\*足利学校を修造し五経を寄進して再興。持氏から義久への相続を幕府に請うが、幕府の圧力で、ついに永安寺を攻めさせ、持氏が自害したのを聞くと、自らも再び自害しようとして果たせず、弟清方に後事を托して伊豆国に退き、持氏追薦のため伊豆国に藏春院を建て、国清寺で出家するものの、**  
結城合戦 1440= 30歳：伊豆国に最勝院を創建。**幕府から政界復帰を命じられ、鎌倉に戻る。持氏残党が遺児を擁して決起したため、武蔵国神奈川に出陣。**

嘉吉の乱 1441= 31歳：**将軍義教が死去したが、新将軍義勝の幕府からも関東管領として執務するよう命じられる。**

1442= 32歳：万里小路時房より上野国利根荘について幹施を依頼される。

対馬嘉吉条約 1443= 33歳：万里小路時房、上野国利根荘について憲実の下知を請う。

1444= 34歳：越後国上田荘と同国国衙半分を次男房頭譲り、在京奉公させ、さらに丹波国漢部郷を譲る。

1445= 35歳：憲実の跡を継いだ弟清方が死去。

1446= 36歳：長男憲忠還俗する。足利学校の「学規」を定める。

成氏鎌倉公方 1447= 37歳：**幕府から関東公方が決定され、管領としての補佐を求められるが、固辞、幕府から子憲忠の就任が説得され、彼が政界に登場することになって、義絶。以後、遍歴の旅に出たと思われる。**

1448= 38歳：この年、憲忠が関東管領となる。

1450= 40歳：この年、弟道悦(重方)が足利氏と上杉氏を調停するため鎌倉に入る。

1452= 42歳：**長門国大寧寺に至り、竹居正猷に師事する。**

享徳の乱始 1454= 44歳：この年、憲忠が成氏によって暗殺され、<享徳の乱>が始まる。山内家は次男房頭が継ぐ。

古河公方始 1455= 45歳：この年、上杉軍と足利軍との戦いが続く。成氏が下総国古河に拠る(古河公方)。

1460= 50歳：周鳳が笑雲から憲実手沢の「劔南統藁」を贈られる。

蓮如御年始 1461= 51歳：師の竹居が死去。

**その法を継いだ僧の一人として、地域の人々に敬愛されるなか、**

1464= 54歳：

1466= 56歳：長門国大寧寺で**没した。**